

第25巻第1号

(2023年9月)

原著	児童期における自己制御能力と実行機能の発達	西田 美由紀 松村 京子
実践研究報告	主体的なカリキュラム調整者としての教師の教育 —「初等社会科教育法」における教育方法の構築—	紙田 路子
	学習の足場としての「めあて」に関する研究 —「言語活動の充実」を通じた資質能力の育成—	難波 優太郎 宮本 浩治
	生きものの飼育体験から広がる教科等横断型学習の展開 —小学3年生における実践から—	藤井 康子 西口 宏泰 麻生 良太 伊東 俊昭
	保育者志望学生を対象とした他者を大事にする協働的な学び —身体表現を生かす「彫刻家と粘土」の実践を例に—	山本 直樹
	重度・重複障害児の自発行動を促す教具の製作と活用 —フリーハンドベル, グニグニ棒, ポケットオルゴール—	山之内 幹
総説・展望	学習の自己調整は日常的学習行動の中でどう促進されるのか —研究, 実践, 政策の動向と今後の展望—	市川 伸一 篠ヶ谷 圭太

第24巻第2号

(2023年3月)

原著	新造形主義抽象画における専門的学習者と 非専門的学習者の視線の違い	渡邊 雄介 松村 京子
	道徳授業における話し合いについての一考察 —ローティ, R. の会話概念を手がかりとして—	竹本 晋也
実践研究報告	生活や社会の中で「活用されている音楽」の 役割を理解するための教材選択と授業構成 —フィギュアスケートを取り上げた高等学校・芸術科(音楽)の授業を例に—	鶴岡 翔太
資料	国際バカロレアPYP 認定校の音楽の授業における指導方法 —「GarageBand を用いた音楽づくり」に関する事例の分析を通して—	稲生 涼子
	スクールカウンセラーが高校生を対象として 実施した講演会の効果に関する実証的検討 —交差遅延効果モデルと同時効果モデルを用いて—	黒木 幸敏
特集 第25回研究大会ワークショップ フィンランドの教育実践 —日本との比較から—	教育実践比較研究のはじまり	松村 京子
	「個別の学び」と「協働の学び」の融合をどう考えるか	青砥 弘幸
	フィンランドにおける数学教育の現状	二澤 善紀
	授業デザインの違いから見える教師の信念・価値観の実相 —日本とフィンランドの授業実践比較を手がかりとして—	高見 仁志
	フィンランドにおける外国語(英語)学習の特徴 —多様な言語実態に即した指導の工夫—	赤沢 真世
	“触れる”“感じる”“やってみる”遊びと学びのストーリーを体験して	臼井 奈緒

第24巻第1号

(2022年9月)

実践研究報告	高等学校・音楽 I における音楽の前後関係やつながりを意識した創作の学 習指導 — ループ素材を組み合わせて音楽を構成する手法に着目して —	鶴岡 翔太
	自己生成型の利用価値介入を取り入れた教職科目の授業実践の効果	徳永 哲 米沢 崇

第23巻第2号

(2022年3月)

原著	教育実習経験は学生の授業中の子どもに向ける視線や気づきに影響するか？ —教育実習経験学生と未経験学生の視線分析研究から—	篠田 裕文 山本 剛 松村 京子
特集 第24回研究大会ワークショップ	教育実践に関する研究論文の採択に向けて —掲載論文の査読プロセスから見えるもの— 〈企画の主旨〉	松村 京子
	【事例1】資料「人権教育と道徳教育の関連性に関する分析的研究—人権課題に関わる道徳教科書教材に注目して—」の査読プロセスの省察	河野辺 貴則
	河野辺貴則論文の査読について	荒木 紀幸
	【事例2】実践研究報告「統合の観点から発展的に考察する力を高める授業づくりの研究」の査読プロセスの省察	山野 定寿
	山野定寿論文の査読について	秋田 美代
	【事例3】展望「学習における宿題の役割に関する心理学的検討」の査読プロセスの省察	太田 絵梨子
	太田絵梨子論文の査読について	五十嵐 哲也
	教育実践学研究に求められるもの —「教育実践学研究」の査読動向にみる傾向から—	米澤 好史
教育実践研究論文の査読のあり方	市川 伸一	
第23巻第1号 (2021年9月)		
特集 第23回研究大会 特別講演資料	ウイズコロナ時代の学習と授業を考える —「授業の中で学ぶ」から「授業を使って学ぶ」へ—	市川 伸一
資料	道徳科の評価研究における教師の振り返りに関する事例研究	今川 美幸 谷田 増幸
	教員養成教育における学生のラーニング・ブリッジングに関する調査研究 —授業に対する課題価値の認知と認知的方略の使用に着目して—	米沢 崇 徳永 哲
第22巻第2号 (2021年3月)		
資料	筋ジストロフィー児に対する教材・教具の開発と実践 —卓上ビー玉ゲーム ボードベースボール フロアリバーシ—	山之内 幹
原著	水墨画鑑賞時における絵画解説文の有無による鑑賞者の視線の比較	渡邊 雄介 松村 京子
実践研究報告	科学的に適切な電流概念を獲得することにつながる電気回路モデル教材の開発	平田 豊誠 小間 翠 野ヶ山 康弘 小川 博士
第22巻第1号 (2020年9月)		
資料	人権教育と道徳教育の関連性に関する分析的研究 —人権課題に関わる道徳教科書教材に着目して—	河野辺 貴則
	教員の協働を促すミドルリーダーのマネジメント行動にかかる—考察	西田 寛子 久我 直人
実践研究報告	統合の観点から発展的に考察する力を高める授業づくりの研究 —5年「式と計算」を例にして—	山野 定寿
特別寄稿	コロナウイルスの世界的蔓延と対面授業と遠隔学習	西之園 晴夫
第21巻第1号 (2019年9月)		
実践研究報告	教科書・ノートの活用を促す個別指導の試み —授業と家庭学習をつなぐ学習方略の習得に向けて—	福田 麻莉
第21回研究大会 記念講演資料	学修指導要領改訂と教育実践研究に期待すること	合田 哲雄
第20巻第2号 (2019年3月)		

原著	私立高校教育の質の保証・向上と外部からの支援 —鳥取県教育委員会と私学担当部局の事例から—	白川 正樹
総説・展望	初等教員養成課程学生の初見視唱直前における読譜の視線分析研究	河内 勇 松村 京子
資料	学習における宿題の役割に関する心理学的検討	太田 絵梨子
第20巻第1号	(2018年9月)	
特別寄稿	教育実践の論文化と査読をめぐって —「実践研究報告」への期待と提案—	市川 伸一
資料	アメリカ合衆国の大学における初年次ライティングの教育実践に関する一考察	西口 啓太
第19巻第2号	(2018年3月)	
特集 第20回研究大会 公開シンポジウム 「日本における教育実践研究の動向—フランスとの比較を通して—」	フランスの中学校におけるカリキュラム実践の動向	細尾 萌子
	高等教育無償化への実践研究 フランス社会の階層格差への取り組みは資料から読み取れるか	西之園 晴夫
	日本教育実践学会20年間の流れ —研究大会の発表題目の傾向—	堀出 雅人
	日本における教育実践研究の動向 —連合教育大学院での学びを通じて—	山口 孝治
実践研究報告	参加型人権教育の授業改善に関する実践的考察 —「[知識的側面][技能木側面]重視型ランキング」の支援の視点	河野辺 孝則
第19巻第1号	(2017年9月)	
原著	参加型人権教育「ランキング」の授業分析研究 —人権教育を通じて育てたい資質・能力の構成要素に焦点をあてて—	河野辺 孝則
実践研究報告	小学校におけるトイレの役割および排便習慣についての保健指導	伊藤 早苗 上村 弘子 松枝 睦美 棟方 百熊
第18巻第2号	(2017年3月)	
実践研究報告	保育におけるKI活動HOIKU-KIの適用可能性の検証	高尾 淳子
	科学的知識と杞憂知識を意図的に相互交渉させる学習活動の効果	植原 俊晴
	操作的思考課題を導入した学習活動が公式の関係処理に及ぼす効果	植原 俊晴
第18巻第1号	(2016年9月)	
原著	日本語から英語への機械的置換が算出する英語での意味的冗長性 —「と思う」と“I think”を例に—	西谷 工平 中崎 崇 ローレンスダンテ
実践研究報告	高校生に対するソーシャルスキル・トレーニングの 標的スキルの定着化への取り組み	星 雄一郎 渡辺 弥生
	授業分析における教師のポジションに関する研究 —対話的自己論による教師の語りの分析—	藤井 佑介
第17巻第2号	(2016年3月)	
特集 第18回研究大会 課題研究発表	課題Ⅰ「教員養成教育の未来—理論と実践の往還—」	
	まとめ:「教員養成教育の未来—理論と実践の往還—」	松本 健義 木村 吉彦
	教師の『からだ』を育てる—《to have》から《to be》へ—	畔上 一康
	新任教員が「実践知」を構築する課程	久保田 善彦
	参画型アクションリサーチの質と批判的省察—教職大学院における教員養成	黒崎 東洋郎
	教育における理論と実践の往還を問う	生田 孝至
	課題Ⅱ「アクティブ・ラーニングの可能性」	

	まとめ:課題研究Ⅱ「アクティブ・ラーニングの可能性」	水落 芳明 土田 了輔
	主体的・協働的な教員研修の手法「Round Study」の提案とその可能性	原田 三朗
	アクティブ・ラーニングによるグローバル・リーダーの育成	西田 寛子
	リアルタイム授業応答システムを用いた学生参加型の教育実践	高橋 直樹 西原 康行
	高校道徳におけるアクティブ・ラーニングに関する一考察—「モラル・スキル・トレーニング」を手掛かりとして—	長島 利行 柴原 宏一

第17巻第1号 (2015年9月)

実践研究報告	高等学校の道徳教育における学校改善に関する一考察—公立A高校の事例調査を中心にして—	長島 利行
	推論を活かした規則発見の授業過程モデルの研究	山野 定寿
	高等学校「家庭基礎」における教科連携の授業実践の試み—家庭科と英語科との連携による調理実習—	皆川 勝子 福井 典代 村上 陽子

第16巻第2号 (2015年3月)

原著	校内授業研究会における教師の思考の分析—教師の「語り」の分析における関連性評定質的分析法の妥当性—	平田 幸男
	若きフランクルにおけるロゴセラピーの構想—青少年相談所の実践に着目して—	荒金 誠
	親(世代)になるための資質形成: 中学・高校時代の乳幼児との触れ合い経験歴との関連性	細谷 里香
実践研究報告	めあてと振り返りの連動による自律性の育成に関する研究—RPDCAサイクルを活かした算数の学び—	太田 誠 岡崎 正和
資料	知能の自己理論尺度の作成	岩木 信喜 梅津 亜耶子 前泊 麻理菜

第16巻第1号 (2014年9月)

原著	対人関係場面におけるソーシャル・シンキングプログラムのアセスメントツールの開発と介入効果	岡脇 誠 笹口 浩子 松村 京子
資料	小学校における特別支援教育体制の実働状態を促進する要因の相互関連性	米沢 崇 宮木 秀雄 内村 菜央 林 孝

第15巻第2号 (2014年3月)

原著	「成長する教師」の職能性に関する実践学的検討—「NHK:プロフェッショナル仕事の流儀」の質的分析を通して—	長田 則子 梅野 圭史 林 修 山口 孝治 上原 禎弘
実践研究報告	穏やかな言語環境を目指す人権教育の授業開発—言葉によるいじめ判決書教材を活用して—	新福 悦郎

第15巻第1号 (2013年9月)

原著	国語科授業における対話の変容—発話の「宛名」を手がかりに—	前原 裕樹
	初任国語科教師の授業実践知構築プロセスモデル—初任者研修内外の諸経験についての教師の語りの分析を通して—	丸山 範高

第14巻第2号 (2013年3月)

原著	児童のつまずきに応じた算数の個別学習支援による学習意欲の変容	細谷 里香 北川 里奈 松村 京子
----	--------------------------------	-------------------------

	通常学級における多動児のワーキングメモリ支援による行動改善に関する実証的研究	小林 裕子 松村 京子
第14巻第1号 (2013年2月)		
原著	理科授業の班単位の協同的な学習の評価方法に関する一考察	杉本 剛 土田 了輔 阿部 敏也 榊原 潔 與那嶺 響 北澤 太野
	分業に基づくバスケットボールの単元が子どもの学びに及ぼす影響	
第13巻第1・2合併号 (2012年3月)		
原著	水俣病裁判判決書を教材として資質・能力の育成を 目指した人権教育の事例研究	新福 悦郎
	高校生の理数科目における関心低下と学習行動の関係 —進学系高校を対象とした質問紙調査の量的質的分析を通して—	谷口 祐美枝
	新高等学校学習指導要領による科目「保健」の医薬品に 関する授業実践研究	富岡 剛 上田 裕司 鬼頭 英明 西岡 伸紀
資料・報告	ビデオ作成の体験を取り入れた情報モラル学習の効果 に関する事例研究 —文字によるネットコミュニケーションの留意点の学習を通して—	長谷川 春生 久保田 善彦
第12巻第2号 (2011年3月)		
原著	アフタースクールにおける小学校1年生の学習行動と 内発的学習意欲に関する研究	細谷 里香 松村 京子
	国語科教師が授業批評会を拠りどころに構築する 実践理論としての国語科指導過程論 —国語科教師の授業省察に関わる語りの分析を通して—	丸山 範高
資料・報告	チーム学習による運動に取り組む意欲の変化に関する報告 —鉄棒の逆上がり課題とした場合—	大森 宏一
	CSCLを活用した学級全体の意見共有による課題設定 に関する研究 —小学4年総合的な学習の時間「ごみをへらしてリサイクル」の 実践を通して—	長谷川 春生 久保田 善彦 水落 芳明
第12巻第1号 (2010年9月)		
原著	生徒指導と特別支援教育との総合志向性に 関する教員の意識調査	村上 凡子
	算数・数学担当教員を目指す教員養成大学学生の 学習指導案作成能力の向上に関する事例研究	秋田 美代 斎藤 昇
第11巻第2号 (2010年3月)		
原著	振り返りの重視による学びの自覚 —「話すこと・聞くこと」領域の指導を通して—	長谷 浩也
資料	実習校指導教員の役割と指導・支援に関する検討 —A大学附属の小学校の指導教員と教育実習生を 対象とした質問紙調査の結果を中心にして—	米沢 崇
第11巻第1号 (2009年11月)		
原著	算数教育における数学的信念尺度の開発 —小学校教師と児童を対象にして—	広瀬隆司 斎藤 昇 藤原 伸彦 長谷川 勝久 坂井 武司 林 隆宏 松下弘二
	『奈良県社会科診断テスト』における情意的学力の 問題開発に関する史的研究 —報告書及びテスト問題作成者へのインタビューの分析を通して—	坂井 誠亮
資料	デジタルポートフォリオを用いた中学校英語の評価 —学習者の意識及びパフォーマンスの変化—	岩見 理華
第10巻第2号 (2009年3月)		
原著	GISを活用した博学連携地域学習カリキュラムに 関する実践的研究	三上 光一 永野 昌博 山本 徳司 横山 純 中平 勝子

	授業場面を想定した学習過程時のNIRSによる 脳活動の特徴 —小学生を対象とした虫食い算課題におけるヒント提示実験を通して—	岡本 尚子 黒田 添史 前迫 孝憲 江田 英雄
資料	高等学校国語科一教師の実践的知識の成長過程に 関わる事例研究 —授業経験知の語りの分析を通して—	丸山 範高

第10巻第1号 (2008年10月)

原著	乳児との定期的交流学習による児童の情緒応答性の発達	富井 和美 松村 京子
	初任者からみた教育実習経験の意義に関する一考察	米沢 崇
	定着化した保育歌唱教材における歌詞の特徴について	岩口 摂子

第9巻第2号 (2008年3月)

原著	質的研究による聴覚障害児の日常行動分析と 生活指導法の開発	山之内 幹
展望	実践研究におけるGrounded Theory Approachの 意義と可能性	増井 三夫
図書館案内	Grounded Theory Approach関係の基本文献紹介	増井 三夫

第9巻第1号 (2007年10月)

原著	理科授業における実験班と教師のかかわりに関する事例的研究 —学びの文脈と教える文脈との関連から—	久保田 善彦 水落 芳明 西川 純 戸北 凱惟
	小学校国語科・読むことの目標分析試案	鎌田 首治郎
報告	小学校臨海学校における緊急時訓練プログラム に関する実践的研究	矢野 正
展望	質的研究による学習指導研究の意義と展望	平山 満義

第8巻第2号 (2007年3月)

原著	身体動作を伴った音楽表現学習 —「子もり歌」の機能に着目した授業実践を通して—	今 由佳里
	小学校「人間発達科」第5学年の学習プログラムの開発研究 —感情についての理解を促す学習とその効果—	服部 英雄 宮元 博章 松村 京子
	倉橋惣三の保育思想における家族援助論 —児童保護論を中心に—	狐塚 和江
	空間図形における創造性テストと創造性態度テストとの関係	秋田 美代

第8巻第1号 (2006年8月)

原著	校内研修における協働性に関する事例研究 —教師の情緒的地形に着目して—	黒羽 正見
	聾児と教師間の「伝わりにくいこと」について の質的分析	山之内 幹
	教育実践の研究方法としての教育技術学と組織シンボリズム	西之園 晴夫 宮田 仁 望月 紫帆
	日本語版教師効力感尺度(TES)の作成とその検証 —中国語版教師効力感尺度との比較を通して—	黄 喜 珊 劉 鳴 塩見 邦雄

第7巻第1号 (2005年12月)

原著	発話・表情分析に基づく育児シミュレーションソフト の学習効果	山口香織 松村京子
	高校生の作文共同編集における相互交流と表現 の確定について	片桐 史裕 西川 純

第6巻第1号 (2005年3月)

特別寄稿	研究者は実践現場とどう関わるか	梶田 叡一
原著	東大淀小学校の総合学習における 芸術表現活動成立の構造	小島 律子
	教師による教職の専門性認知 —他の職業の専門性と比較して—	弓削 洋子
	乳幼児理解のための マルチメディアソフトウェアの開発	松村 京子 高野 勉
資料	外国人生徒のための高校入試対策としての設問文分析 —「英語」入試問題について—	光元 聰江 藤原 康弘

第5巻第1号 (2004年3月)

原著	ペスタロッチー教育思想における教育実践学的考察 —「愛」の意義を中心に—	光田 尚美
	コーディネーター	木村 捨雄
シンポジウム「教育実践 研究における知とは何か」 (第5回日本教育実践学会シ ンポジウム・特別対談報 告)	ポストモダンの視点から	宮寺 晃夫
	臨床教育の視点から	皇 紀夫
	教育技術の視点から	西之園 晴夫
	学校経営の視点から	佐古 秀一
	知識工学の視点から	岡本 敏雄
特別対談「これからの高度 教職専門を語る」 (第5回日本教育実践学会シ ンポジウム・特別対談報 告)	「これからの高度教職専門を語る」	麻生 誠 和田 修二 司会：西之園晴 夫

第4巻第1号 (2003年3月)

原著	信州大学附属長野小学校の「総合学習」における「経験」と「表現」 —J・デューイの「経験」と「表現」の原理に基づいて— 中学生の対人ストレスを低減するための学校教育プログラム —教育プログラムの作成と教育効果の検討—	斉藤 百合子 斉藤 剛 山崎 勝之
資料	集団成員の態度の多様性と確信度の類似性が集団討議と その成果に及ぼす効果 —集団学習による大学授業の活性化の試み—	弓削 洋子

第3巻第1号 (2001年9月)

原著	技術科教育における乾電池の有効利用を題材とした 「バッテリーチェッカー」の製作 演奏表現を中心とした音楽指導内容の研究 —音楽レッスンの分析を通して—	安東 茂樹 寺石 稔 坂口 喜啓 浅田 寿展 加納 暁子
----	--	--

第2巻第1号 (2000年7月)

総説・展望	「理論と実践の乖離」の言説を越えて	葛上 秀文
原著	シャイネスと社会的スキルの関連が自己開示に及ぼす影響	松島 るみ 塩見 邦夫
	自閉症児における視点取得課題に関する検討 —空間的視点取得と認知的視点取得のパフォーマンスについて—	奥田健次 井上雅彦 山口俊郎
	言語性学習障害児の書字指導に関する事例研究	島田 添仁
	子どもの知的発達に関するビデオ教材の開発 —ピアジェの実験を題材にして—	永田 智子 松村 京子
	総合的な学習のカリキュラム開発の類型化 —「現代的諸課題への対応」と「子どもの主体性の育成」に焦点を当てて—	村川 雅弘
資料	実践的な教師教育研究の動向と教師の信念体系 身近な材料を使った造形遊びを主題にした絵本と小学校生活科学学習との関 連性 通常学級における障害児の在籍状況と諸問題 —わが国の実態調査からの検討—	藤木 和己 高橋 敏之 鎌野 智里 吉利 宗久

第1巻第1号 (1999年5月)

巻頭言	学会誌「教育実践学研究」の第1号の発刊にあたって	木村 捨雄
総説・展望	未来との対話を基底にした「教育の進歩・改善」を目指す教育実践学 —学校(実践知)と大学(理論知)と教育行政学(行政知)とのパートナーシップ	木村 捨雄 葛上 秀文
	教育実践学の構築 —教育実践と教育理論との関わりについての考察から—	塩見 邦雄
	生徒指導の実践的な知の枠組み	山下 一夫
	学校教育相談の課題とその展開における箱庭療法の役割	平松 清志
	児童の自己統制の構造とその規定要因の検討 —自己統制と社会的スキルとの関連—	中田 栄 塩見 邦雄
原著	小学校児童の不安に関する研究 —韓国における学校内不安とテキスト不安の実態と我が国との比較—	荒木 紀幸
	折り紙を折る行動における手の器用さの要因について —子どもの手の器用さの獲得のための学習システムに向けて—	遠藤 晶 塩見 邦雄
	自分と学校・近所の人々とのかかわりを主題にした絵本と 小学校生活科学学習との関連性 —先行体験としての幼稚園教育における絵本環境(1)—	吉利 宗久